

2021 年

5月号

福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22

TEL093-662-6000・FAX093-662-6006

E-mail gakuhoren@fukuoka-gkd.jp

2021年5月18日発行・№4号



福岡県学童保育連絡協議会（以下、福岡県連協）に加盟して下さっておられるクラブ・個人・賛助会員の皆様、働きながらの子育てを頑張っておられる保護者の皆様、そして支援員の皆様、皆様が共に協力し合い、日頃よりご尽力してくださっていることに感謝し、合わせて県連協へのご理解ご協力に感謝いたします。

我々は皆様と共に学童保育施策の拡充に向けて活動していく所存です。

新型コロナウイルス感染拡大に向けた防止策は今後もまだまだ続きそうです。まずは自らを律し防止策に向き合うことが大切だと思います。

アッという間に5月

花々は咲き乱れ人の心を癒すさわやかな季節がやってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。2月（no3）報告から、あっという間に5月となりました。学童保育は、3月～4月は年度の切り替わり期に加え、新入所受け入れ準備、春休み～新入所受け入れ、新学期始まり、給食開始までの一日保育は続き、加えて家庭訪問による4時間授業への対応等、一番バタバタしながら緊張が続く日々…加えて未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染の猛威に対処する毎日です。

県連協では、3月5日に「～コロナに負けない学びの場～」と題し、第1弾“下浦先生のオンライン研修”を皮切りに第2弾“永松先生のオンライン研修”を開催。

今年度の“出前研修”もオンラインもしくは感染拡大防止策を講じ現地開催で案内を配信しました。

そして、第46回全国学童保育指導員学校（オンライン）開催。準備は着々と進み先日「案内チラシ」が配信されました。皆様のご参加をお待ちいたしております。

今後は、全国連協、九州各観連協と連携し第46回全国学童保育指導員学校の成功に向けた準備、県連協主催の研修企画、県との懇談、そして総会に向けた準備等、役員一同、学童保育拡充に向けた活動に尽力を注ぐ予定です。以下報告といたします。※報告が遅くなりましたことお詫び申し上げます。



2020 年度オンライン研修 ～コロナに負けない学び合 いの場～開催いたしました。

第1弾「こんな時だからこそ子どもも大人も心を寄せ合って育ちあおう」講師：下浦忠治先生。参加者は約250名。コロナ禍による子どもたちを取り巻く現状と保護者たちの現状、だからこそ心を寄せあって育ちあうことの大切さを、学童保育であるべき支援員の仕事と役割を通して、下浦先生の優しい語りから厳しく指導していただきました。

第2弾「企業も含めた様々な運営主体の参入の中で、どのように学童保育の質を保障していくのか」講師：永松範子先生。参加者約25名。他県からの参加もあり、学童保育の質の保障がどこの地域においても課題であることが解りました。保護者及び関係機関と連携し、学童保育を理解しあい共に子どもたちの最善の利益の為に環境を整え質の向上に努めることが大切と学びました。

【第46回全国学童保育指導員学校 福岡会場】案内配信！

県内各自治体に配信いたしました。皆さんのクラブには届きましたか？

今回はオンラインの環境を整えることが必要です。個人、クラブごとなど参加の在り方により午後からの講座の選択があります。ご注意ください。「自己研鑽」が求められる支援員にとっては必要な研修の機会です。皆様の参加をお待ちしております。

15月17日が締め切りにな
っていますが22日(土)
まで延長いたします！！

県連協主催【出前研修会「学童保育講座」】

案内配信！

出前研修を始めて11年目に入りました。去年のコロナ禍の中も感染防止策を徹底し開催しました。

今年度も感染防止策を徹底し現地開催もしくはオンラインで研修できるよう案内を配信いたしました。

まだまだ続く新型コロナウイルス感染…ですが、

学童保育は保育所同様に開所することが求められています。より一層の学びの中で子どもたちの命、発達成長、そして保護者の就労を守らなければなりません。

学童保育で働く全ての支援員の学びを止めてはいけません。是非ご活用くださいませ。

各自治体に配信していますので、「研修させてほしい」と要望してください。



♡ある日の学童で♡

子どもたち「ね～友達100人でできるかな？」それを聞いていた支援員「うちの学童第1第2合わせたらみんなで100人なるよ。」という、子どもたち「学童のみんなは家族なんだから違うでしょ。」と……学童仲間は家族♡と言う子どもたちの言葉に「うちの子どもたちすごいな。」と ほっこり♡

「日本の学童ほいく」誌 年間購読契約で1冊390円—
学童保育に特化して、○子どものこと ○働きながらの子育て ○子どもを取り巻く環境と働くことの大変さ ○障がい ○学童保育理解などなど、みんなで読んで！！未来ある子どもたちの命を守り合いましょう。 支援員の皆様絶対に「自己研鑽」の位置づけとしても購読するべきです。 購読依頼お待ちしております。

第3者評価について 全国運営委員会＜全国研＞を受けて！

5／8～9 にかけて全国運営委員会が開催され、9 日は、東京都で行った第三者評価者とそれを受けた学童保育を運営する NPO 法人、両者の報告を受け第三者評価を考える研修がありました。

※県がガイドラインを策定し市町村へ。市町村はそれを元に第三者評価を行う会社に依頼し、それに基づいて行う。 だから市町村が行う。 県の動きや県のガイドラインを確認すること。

※告知してから約3か月の準備期間があり、保護者、利用者、職員、運営者それぞれに評価チェック表がある。現場支援員への聞き取りや保育実践観察は一日かけておこなう。

※それを受け、約2～3か月の評価を行い、報告する。告知から報告会まで約5～6か月かかる。

※第三者評価は、お墨付きを与えるものでも、ダメ出しをするものでも無いこと。なので、評価者はどこにも有利に働くような評価ではなく、学童保育でいうと条例基準、運営指針に沿った運営と育成支援が出来ているかを評価することが大切。評価者も含め公表されるため、その責任は重大。

※主催者である市町村に向けて働きかけるとすれば、「お墨付きを与えるものでも、ダメ出しをするものでも無いこと。学童保育でいうと条例基準、運営指針に沿った運営と育成支援が出来ているかを評価することが大切。」である事を基本に、どこに対しても有利に働くような評価ではなく平等性をもって「改善するべきところは改善へ、評価するところは継続するという視点で行われることが大事。そこには保護者も共に同じ視点でいることも大切。保護者とのかわりが鍵を握る。」

今回、国の新規事業として「放課後児童クラブ第3者評価受審推進事業」が盛り込まれた背景はとても複雑で、国の「2040年構想」による大きな渦に巻き込まれているのではという視点もあります。こうして今年度事業として盛り込まれた以上は福岡県としての動向、及び市町村の動きに注視しておく必要があります。

HP をご覧になって、ぜひ加盟したいと思われたクラブ・個人・そして運営者の皆様へ

ご覧の通り、県連協は全国連とつながり、様々な情報を得ながら、学童保育を利用する全ての子どもたちへの育成支援、働きながら子育てする保護者への就労支援が出来るよう、情報提供や、県市町村への要望や懇談、相談業務、諸々の学習会を行い、皆様と共に頑張ろうと思っています。ぜひ共に！！

加盟して下さる場合は県連協事務局へご連絡をくださいませ

県連協事務局 ☎ 番号 093-662-6000 木下まで